

“おいしい”ナス品種 「あのみのり」



● おどりとパンとマヨ ●

An illustration of a young girl with brown hair in pigtails, wearing a red long-sleeved shirt and a white skirt, holding a very large, dark purple eggplant. In the background, a man in a brown sweater and blue pants, and a woman in a yellow top and brown skirt, are standing together. The text on the left is written in Japanese, describing the history and cultivation of eggplants.

受粉しなくとも
大きくなれる
ナスには、おしべの
花粉をめしべが受粉しな
ければ果実が大きくなら
ない性質があり、ミツバ
チなどを利用して受粉し
ています。しかし、寒い
時期には、正常な花粉が
できなかつたり、ミツ
バチの活動が弱まつた
りするため、花の一
ひとつに生長を早める
植物ホルモンをかける



「ホルモン剤処理」をする必要がありました。ホルモン剤処理は、生産者がナスを育てるのに必要な全体の作業

時間のうちの約3割にもおよんでおり、生産者の作業を樂にする品種が求められていました。そこで、(独)農研機構野菜茶業研究所は、ミツバチによる受粉やホルモン剤処理をしなくても正常に実が大きくなる性質

日本人好みのおいしい品種「ほんじんごのひんしゅ」を育成しました。

ナスはもともと受粉しないと実が大きくならない性質で、受粉のためにミツバチなどを使っているのよ

ナスはもともと受粉しないと実が大きくならない性質で、受粉のためにミツバチなどを使っているのよ

さらに花粉の出来にくく、寒い時期にはホルモン剤処理をする必要があるて、それは手間がかかつて大変なの

ホルモン剤処理

花のひとつひとつに植物ホルモンをかけるんだよ

え、大変そう！ そうしないと実が大きくならないんだ

それで「あのみのり」が作られたんだねー！！

待ってました！ なナスなのよ

その上ミツバチもホルモン剤処理もいらないから生産にかかる時間もコストも節約できる

はい「あのみのり」召し上がり

わへい

今日はナスづくしだね

いただきまーす

「ナスです。花粉ができるに
くい 寒い時期には食べや
すい 種なし果実となり、
きれいな漬物ができると
評判になっています。「あ
のみのり」はホルモン
剤処理やミツバチの利用
にかかる費用や全体の
作業時間を削減できるた
め、生産者にとっても「お
いしい」ナスといえます。